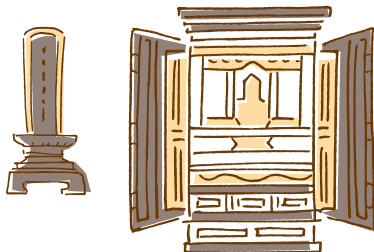


仏式葬儀後の流れ

◆本位牌の準備

忌明けまでに、漆塗りの「本位牌」を準備します。浄土真宗本願寺派、真宗大谷派、日蓮正宗等では、過去帳を用います。

本位牌は、葬儀の時に使った「白木位牌」とは異なり、仏壇に安置して、永く供養していくものです。忌明け法要の際には、白木位牌と本位牌の両方を用意して、白木位牌は魂抜きを、本位牌は魂入れをしてもらいます。白木位牌は葬儀に使われる仮の位牌で、使用するのは四十九日(中陰)までです。



◆仏壇の準備

仏壇は「家庭内のお寺」と言われるように、本尊をまつり、朝夕おまいりするものです。仏となった故人や先祖を供養するために、位牌や過去帳を安置しておまいりします。

仏壇を購入する際は、本体だけでなく、本尊や花立、香炉などの仏具も必要です。安置する部屋や場所を事前に決めておき、気に入ったものを選ぶのがよいでしょう。